

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	小水力発電の促進に向けた河川管理の許可等のあり方検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度/平成23年度		担当課室	河川環境課		小池 剛		
会計区分	一般会計		施策名	8 良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	河川法第26条第1項		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	小水力発電の普及促進を支援するにあたり、河川区域内に設置する小水力発電施設についての河川法に関する技術審査基準の原案を検討し、申請手続の迅速化を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既存の小水力発電の情報を有効活用し、効果的な検討を行うため、発電機の設置方法や設置箇所の流量状況、維持管理における課題等について、事例調査を行うとともに、電力関係団体へのヒアリングを行い、設計、施工及び維持管理における技術的課題を整理する。これを踏まえ、発電機等の施設を設置することによる治水、利水、環境への影響の有無等について、シミュレーションにより検証したうえで、河川区域内に小水力発電施設を設置する場合の技術審査基準(原案)を検討する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	—	9	13	—		
	執行額	—	8	12				
	執行率(%)	—	91.5%	91.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	水辺の再生の割合		成果実績		26	27	29	約4割
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	「河川区域内に小水力発電施設を設置する場合の技術審査基準(原案)」を作成		活動実績(当初見込み)	%		39	100	—
					39	100	()	
単位当たりコスト	20百万円(実績額/審査基準)		算出根拠	実績額を1業務で除している				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・本検討は、「行政刷新会議の規制・制度改革に関する追加方針」(H23.7.22閣議決定)に盛り込まれた内容について措置していくものであり、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。 また、小水力発電は河川行政における河川環境の保持とエネルギー行政における電力確保の観点から調整を図る必要があること、また、水利使用は、国が自ら又は都道府県が法定受託事務として行う許認可業務であり、国が行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・業務発注にあたっては、企画競争により公募を実施することにより、競争性の確保に務めており、支出内容についても水管理・国土保全部内審査や、企画競争等入札委員会を踏まえ精査している。 ・費目・使途は本施策に必要な検討に要するものに限っている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・本施策の成果(アウトカム)は、現場に適用した後に表れるものであるが、本業務の活動実績(アウトプット)は、小水力発電の申請手続の迅速化に向けた取り組みを行う上で有益なものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・打ち合わせ協議により全体計画、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行っている。</p> <p>・業務の主たる部分に係る再委託は禁止されており、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(コピー、印刷、製本、資料の収集・単純な集計、トレース、単純な電算処理、データ入力)を除き再委託承認申請書を提出させることになっており、打ち合わせ協議により、再委託が無いことを確認している。</p> <p>・進捗度に伴い打合せを実施し、効果的・効率的な業務遂行に努めた結果、当初目標とおりH24.3で原案の作成が完了した。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		<p>昨年度の行政事業レビューで廃止。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0181

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

国土交通省
12百万円

職員旅費
0百万円

〔小水力発電施設の設置に
係る技術審査基準に関す
る企画・立案・情報の収集
等〕



【企画競争】

日本工営(株)
12百万円

〔・小水力発電に係る事例調査
・電力関係団体へのヒアリング
・技術的課題の整理、術審査基準(原案)の検討〕

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日本工営(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	小水力発電に係る技術審査基準検討業務	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本工営(株)	小水力発電に係る技術審査基準検討業務	12	1	99.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					